

大学院リサイタルシリーズ⑥

# カンタービレ

2022年10月22日（土）

11：00 開演（10：40 開場）

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1階

主催：洗足学園音楽大学・大学院

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

■プログラム

フルート独奏・・・・・・・・・・・・・・・・フルート 間木平 美和  
ピアノ 松井 洋子

P.ゴッベール / ノクチュルヌとアレグロ・スケルツァンド

P.ゴッベール / フルード・ソナタ 第3番

クラリネット独奏・・・・・・・・・・・・・・・・クラリネット 元村 理乃  
ピアノ 木幡 律子

C.M.v. ウェーバー / 協奏的第二重奏曲 変ホ長調 Op.48

第1楽章 Allegro con fouco

第2楽章 Andante con moto

第3楽章 Rondo Allegro

休憩

ソプラノ独唱・・・・・・・・・・・・・・・・・・ソプラノ QU YUQU

ピアノ 小林 千夏

G.ドニゼッティ / 《ウィーンの印象》より ため息

G.ドニゼッティ / 《ポジリッポの夏の夜》より 真夜中に

V.ベッリーニ / オペラ《カプレーティ家とモンテッキ家》より ああ、幾度か

G.ドニゼッティ / オペラ《ドン・パスクワレ》より 騎士はあの眼差しを

バリトン独唱・・・・・・・・・・・・・・・・・・バリトン SHU JINBIN

ピアノ 小林 千夏

S.ガストン / 禁じられた音楽

Stanislao Gastaldon (1861-1939) // Musica proibita

F.トスティ / 可愛い口元

Francesco Tosti (1846-1916) // 'A vucchella

G・ドニゼッティ / 歌劇《ドンパスクアレー》より

Gaetano Donizetti (1797-1848) // Don Pasquale

天使のような娘 Bella sicome un angelo

W.A.モーツァルト / 歌劇《フィガロの結婚》より

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791) // Le nozze di Figaro

もうお前の勝ちだと言ったな…ため息をつきながら

Hai già vinta la causa!~Vedrò mentre io sospiro

W.A.モーツァルト / 歌劇《ドン・ジョヴァンニ》より

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791) // Don Giovanni

もうお前の勝ちだと言ったな…ため息をつきながら カタログの歌

Mandarina, il catalogo e questo

## ■ 曲目解説

### ● ノクチュルヌとアレグロ・スケルツァンド

フィリップ・ゴーベール (Philippe Gaubert 1879-1941) は、フランスのカオーに生まれ、20世紀はじめにフルート奏者、作曲家、指揮者として活躍した。師であるポール・タファネル (Paul Taffanel 1844-1908) と連名でフルートの重要な教則本を作ったことでも知られている。11歳からタファネルにフルートを教わり、タファネルがパリ音楽院の教授になった1893年にゴーベールは同音楽院に入学した。翌1894年には一等賞を得て卒業した。作曲家としても非常に優秀で、1905年にローマ大賞の第二賞を受賞した。

「ノクチュルヌとアレグロ・スケルツァンド」は、1906年に作曲された卒業試験用の作品。ゆったりとした暖かみのある旋律と繊細な伴奏形の絡み合いが印象的なノクチュルヌと対照的な性格のアレグロ・スケルツァンドは、フルートのもつ軽やかさが表現されている。

### ● フルート・ソナタ 第3番

ゴーベールは、フルートとピアノのために3つのソナタを残している。これらはフルートレパートリーにとって重要な作品になっている。「ソナタ 第3番」はゴーベールが50代の1933年の夏に作曲された。

#### 第1楽章 Allegretto (pas trop vite)

ト長調の朗らかな第1主題から始まり変ホ長調の第2主題は落ちついた旋律を奏でる。後半の第1主題はより色彩豊かな曲となっている。

#### 第2楽章 Intermède pastoral. Très modéré

フルートのもつ伸びやかなメロディとピアノのハーモニーが美しい。中間部のピアノを軸とした大胆な転調が聴きどころである。

#### 第3楽章 Final. Joyeux-Allegretto

生き生きとした曲想の終曲は、繰り返す転調の目まぐるしい変化が印象深い。3楽章始まりの旋律が華やかに登場しフィナーレを迎える。

## ●ウェーバー 協奏的第二重奏曲

ウェーバーは、1786年に、ドイツで生まれ、ロマン派初期の作曲家、指揮者、ピアニストである。あらゆる作品を残し、ドイツ語台本と神話的題材によるオペラをジャンルとして確立し、ワーグナーに大きな影響を与えたと言われている。主に、オペラで有名なウェーバーだが、彼は、ピアノ曲、ホルン曲、クラリネット曲、オーケストラ曲も残している。

ウェーバーが活躍していた同時期にベールマンというクラリネットの名手がいたため、ウェーバーはクラリネットのためにいくつか曲を残した。この曲は、ウェーバーが、1816年に完成させたクラリネットとピアノのための作品である。ウェーバーによって書かれたクラリネット協奏曲3曲が書かれた1811年に書き始められ、第1楽章は1816年にベルリンで、第2楽章、第3楽章は1815年に書かれた。曲の構成はソナタに近い。ウェーバーがとても優れたピアニストであった技量を反映して、クラリネットだけでなく、ピアノも高度な技巧が求められている。彼自身が『グランドデュオ』と名付けたように、これはまさしく2つの楽器がそれぞれ主役となって演奏することもあれば、片方が美しい独奏の際は絶妙なバランスで演奏しなければならない。

### 第1楽章 Allegro con fouco

ソナタ形式。第一主題は、ピアノのスケールで始まり豊富な楽想が次々と提示されている。提示部の後は、展開部、再現部が型通りに続き、クラリネットとピアノが活発に動き続けて終わる。

### 第2楽章 Andante con moto

1楽章と2楽章と比べ、この楽章は憂鬱で暗い曲想になっている。だが、中間部では、ト長調に転調し、明るい雰囲気になる。明暗があったり、クラリネットの幅広い表現力が存分に活かされる。

### 第3楽章 Rondo Allegro

華やかで輝かしいフィナーレである。初めは穏やかだが、次第に日が差しこむようなメロディラインが出てくる。ロンド主題が繰り返されるたびに幅が広がりパワフルで、ピアノパートが充実していく。最後は、華麗なコーダで結ばれる。

### ●ドニゼッティ 歌曲集 《ウィーンの印象》より 溜め息

歌曲集『ウィーンの印象』の第4曲目に収められている。愛する人の亡骸を胸に抱きながら、自分も死を願い、微笑みながら天国へと昇ることを願っている。想いがより強くなる中で、短調から長調に変わり、テンポの変化に伴って音楽が盛り上がっていく。せめて彼女のことを心の中にとどめておくように懇願する。重く沈んだ表情が一変し、熱い想いが激昂するこの曲には、大切な人を失った悲しみを大きく表現した作品です。

### ●ドニゼッティ 歌曲集 《ボジリポの夏の夜》より 真夜中に

この曲集が出版されたのは1836年。当時のドニゼッティ39歳。その頃のドニゼッティは、たった3か月の間に父と母、そして未熟児で生まれた娘さんを亡くします。そして7ヶ月半で流産した奥様が重病。（この翌年、二人目に続き3人目の子どもと奥様が他界）

家族の訃報に続き、仲の良い友人も世を去る。仕事上でも自分の作品が偽装される事が続いたとか。その上、当時のイタリアではコレラが蔓延した為ナポリの劇場が閉鎖される事態。オペラ作品を多く書いたドニゼッティですが、その劇場が閉鎖されている期間には室内楽曲を書いたそうで、「ボジリポの夏の夜」もその中の一つ。

「ボジリポ」と言うのはイタリアのナポリ湾を見下ろす丘で、ドニゼッティ自身もナポリで暮らした時代があったようです。

この作品が作られた年を考えると、彼の人生においては辛い時期であったと想像されます。その時期の作品というと、深く沈んだ音楽かと思われそうですが、残された音楽は明るく軽やかで楽しい曲ばかり。

### ●ベッリーニ オペラ 《カプレーティ家とモンテッキ家》より ああ、幾度か

ジュリエッタのアリアです。ジュリエッタの登場の場で歌われる「ああ、いくたびか」。ベッリーニの特徴である憂いを秘めたメロディー・ラインに彩られたこのカヴァティーナは、このオペラの中でもっとも有名な一曲です。婚礼のための衣装をまとったジュリエッタが、カプレーティ家とモンテッキ家の争いを嘆き、ロメオへの想いを歌う。

### ●ドニゼッティ オペラ 《ドン・パスクワレ》より 騎士はあの眼差しを

ノリーナ（ソプラノ）が最初の登場シーンで歌います。「ドン・パスクワレ (Don Pasquale)」はドニゼッティの後期にあたる作品です。楽しいストーリーと音楽が印象的なドニゼッティらしいイタリア・オペラです。

最初の登場シーンで、ノリーナは恋愛の本を読んでいます。

彼女は本を読んで笑い、「私だって心を誘惑する方法をたくさん知っているわ。」と歌います。ノリーナの性格が表れたとても明るく楽しい曲です。

### ●Musica proibita

Musica proibita(禁じられた音楽)は イタリアの作曲家ガスタルドン (Stanislao Gastaldon/1861-1939)によって 1881 年に書かれた曲です。 ガスタルドンの作曲した曲で現在まで演奏され続けている曲は、 残念ながら『Musica proibita』だけとなっています。 しかし、この曲はイタリアでも未だに人気のある曲としてよく知られています。 恋するオトメの大胆な愛の歌。

### ●'A vucchella

「A vucchella」は、パオロ・トスティが作曲したナポリの歌です。 女性の口は、寒さで少し乾き、ぼろぼろになったときの小さなバラの花びらのようなものだということです。 この歌の歌詞を書いた詩人は、19 世紀の抒情詩人、ガブリエレ・ダヌンツィオです。 ナポリのメロディックな歌の伝統が世界中で非常に人気があるため、ダヌンツィオはナポリの方言で書くことができることを証明したいと考え、この曲「A vucchella」で非常に説得力のある方法でそれを実現しました。

### ●Bella sicome un angelo

アリア「天使のような娘」は、イタリアの作曲家ドニゼッティ (ガエターノ ドニゼッティ、1797-1848) による 喜劇オペラ「ドン パスクアーレ」からの選曲です。『ドンパスクワーレ (Don Pasquale)』は、ガエターノ・ドニゼッティ (Gaetano Donizetti/1797 年-1848 年) が晩年に作曲したオペラ・ブッフアの傑作です。台本はジョヴァンニ・ルッフィーニが急いで書いたものを、ドニゼッティ自身が手を加えて完成したとされています。ドニゼッティは『愛の妙薬』『連隊の娘』『ドンパスクワーレ』などの喜劇的なオペラを書く一方で、『アンナ・ボレーナ』『ルクレツィア・ボルジア』『ランメルモールのルチア』などの悲劇的なオペラも遺しました。

### ●Hai già vinta la causa! ~Vedrò mentre io sospiro

このアリアはモーツァルト作曲のオペラ「フィガロの結婚」の第 18 曲で、伯爵 (コンテ) によって歌われます。原作者はボーマルシェである。スザンナの「あなたはすでに訴訟に勝ったのよ」の言葉を、伯爵は立ち聞きしてしまいました。その言葉を受けて、罨に落ちたのでは?と疑いつつ、それならばこちら手も手を打とうと決意する、伯爵のアリアが「もうお前の勝ちだと言ったな…ため息をつきながら」です。

### ●Madamina il ca talogo e questo

モーツァルトのオペラ「ドン ジョバンニ」からロレンツォ ダ ポンテのイタリア語台本までの バス カタログ アリアであり、モーツァルトの最も有名で人気のあるアリアの 1 つです。オペラの第 1 幕で、ドン ジョヴァンニの使用人レポレッロがエルヴィーラに向けて歌ったものです。主に気さくな調子で歌われ、主人ドン・ジョヴァンニ自身の征服と、女性に関する彼の好みの記述と数え方にある。

## ■プロフィール

### 間木平 美和 フルート

神奈川県出身。12歳よりフルートを始める。  
洗足学園音楽大学管楽器コースを卒業。  
現在、洗足学園音楽大学大学院音楽研究科フルート専攻2年在学中。  
これまでにフルートを北村史織、菅井春恵、室内楽を酒井秀明、  
山根公男、菅井春恵の各氏に師事。



### 元村 理乃 クラリネット

12歳よりクラリネットを始める。  
これまでに、クラリネットを小野寺緑、松本健司、亀井良信、  
室内楽を松本健司、菅井春恵、大浦綾子、安藤裕子、ピアノを千歩紗織、  
北村弥生、塩塚美知子、ソルフェージュを荒玲子の各氏に師事。  
第29回日本クラシック音楽コンクール全国大会に出場し、優秀賞を受賞。  
洗足学園音楽大学管楽器コースクラリネット専攻卒業。現在、  
洗足学園音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻管楽器コース2年在学中。



### 屈 宇琦 ソプラノ

中国湖南省出身。高校から声楽を習い始める。  
西北民族大学音楽学院の声楽コースで卒業。  
在学中に公演活動を多数参加した。  
第14回青年中国-甘肅省青年才能コンクールグに参加し、3位入賞。  
香港国際声楽オープン、中国甘肅省芸術歌曲特別青年Aグループ  
公開コンクールに2位を獲得した。西北民族大学とともに蘭州黄河合唱  
祭に参加。  
佐藤亜希子先生に師事。現在、洗足学園音楽大学大学院2年在学中。



### ジョ キンヘイ バリトン

中国湖南省出身。中国雲南省雲南芸術学園大学声楽コース卒業。  
現在は洗足学園音楽大学大学院声楽専攻二年に在学中 高校二年生より  
声楽を学び今まで声楽に関する活動を活動している。  
第4回日本奏楽コンクールで第五位の成績を収められた。  
声楽をジョンハオ、大山大輔の各氏に師事。

